

まちの話 だい

3月27日 | 愛ある悪口に脱帽

おび通り南ステージで「第12回愛するあなたへの悪口コンテスト」表彰式が行われました。

全国から寄せられた4,757作品の中から選ばれた大賞は、ペンネーム・PON5さん（滋賀県高島市）が詠んだ「味噌汁の味が音程はずれてる」。審査委員長で直木賞作家の村松友視さんは「悪口の表面張力が、想像外の素晴らしい形容へと着地した」と評価しました。



3月27日 | 桜より一足早く笑顔満開

第35回「川根桜まつり走ろう会」が川根町家山で開催され、市内外から参加した約500人が、春の川根路を快走しました。

距離は、川根文化センターを発着点にした10・5・3kmとファミリーの部2km。参加者は、沿道に詰めかけた人々の声援を受けながら、家山川沿いの桜並木や野守の池の湖畔を巡るコースを、春を感じながら駆け抜けました。

トピックス

笹間「夏樹文庫」節目の表彰式



作家の夏樹静子なつきしずこさんが審査員を努める「夏樹文庫作文コンクール」（隔年開催）の表彰式が3月27日、川根町笹間の山村都市交流センターささまで開催されました。

夏樹文庫は、同氏の著作や原稿などを展示する小さな図書館。同氏が終戦直前、笹間に疎開していたことから、平成元年に開設されました。残念ながら、夏樹さんは3月19日に77歳で急逝されましたが、節目となる第10回の入賞者12人に、自筆の講評文を寄せてくれていました。





4月2日 | そっと春を告げる花々

牧之原公園のカタクリが、紅紫色の可憐な花を今年も咲かせました。大井川流域での自生地は珍しく、市の天然記念物に指定されています。

東側斜面に咲く約1万株のカタクリは「島田市金谷野の花の会」の皆さんにご協力いただき、手厚く保護されています。花の見頃は、わずか1週間程度。うつむいて咲くその姿は、訪れた多くの見物客を魅了していました。

3月16日 | 春の夜に輝く世界一の橋

蓬萊橋ライトアップの試験点灯が行われ、周囲は幻想的な雰囲気になりました。

橋を緑に彩る試みは、市のシティプロモーション「島田市緑茶化計画」と「金谷茶まつり」PR、そして水辺環境の活用推進「ミズベリング」の一環。LED投光器10台に照らし出される本番のライトアップは午後7時から2時間程度で、普段と違う春の夜を5月末まで楽しめます。



トピックス

消防団が消防庁長官表彰を受賞



平成26年12月31日に特種東海製紙島田工場で発生した火災の消火活動に当たった島田市消防団が「防災功労者消防庁長官表彰」を受けました。

3月11日には、大石和己団長ら幹部5人が市役所を訪れ、染谷市長に受賞を報告しました。火災発生時から、市消防団は市消防本部と同じテーブルを囲み、連携を図りながら各方面隊に消火を指示。延べ1,870人の団員が結束して、6日間に及ぶ消火活動に尽力されました。